

# NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第142号  
通信

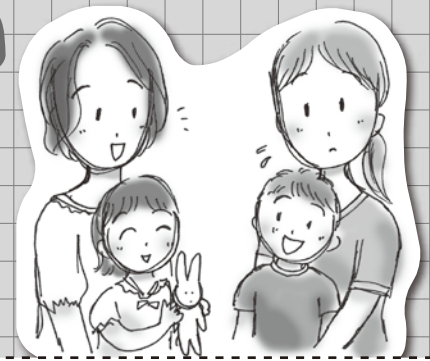
あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2015年9月25日発行 46,370部

● お友達や仕事仲間、自分のまわりの人から相談を持ちかけられた時、  
● どうやって応えたらいいのかな?とか思ったことはありませんか?

相談のことを  
学びませんか?

● 「安心して相談できる街をつくろうプロジェクト」として、  
● 全労済の助成金で

## ● 相談員人材育成講座 ● を開催いたします。



この講座は子育てをしている当事者同士が『相談対応の専門知識』  
を持つことで相手を思いやる人間関係が生まれ、地域ぐるみで安心  
して子育てを応援できる環境を作ることを最終目的としています。

相談って、究極のコミュニケーションだと考えています。  
また、相談についてしっかり学べる講座って、なかなかないのです。

全4回の講座で相談に関する基礎知識・相談の実態・ワークショップ  
・ロールプレイ等を学びます。

- 第一回目 10月12日(水) 子育て支援と相談
- 第二回目 11月4日(水) 相談スキルを獲得しよう①
- 第三回目 11月18日(水) 相談スキルを獲得しよう②
- 第四回目 12月2日(水) 連携・協働と相談支援

会場はすべて、ささえ愛センター(春日井市市民活動支援セ  
ンター)9:45~11:45、受講料なし

講師:かわのゆみこ(NPO法人あっとわん代表理事)

さらに講座後の『ふり返しシェア会』と実際の生活に取り入れてい  
けるような『自主学習会』を実施して、学んだ知識をしっかりと身に  
つけるためのフォローアップ体制も用意しています。

講座を受講できなかった方は、ふり返しシェア会や、自主学習会に  
参加していただき情報や知識の共有ができるように考えています。

さらに、第3回ママの文化祭(平成28年1月22日(金))では、学んだ  
ことを実践してするために相談ブースゾーンを企画していきます。

相談というものをいろいろな側面から理解し習得することを目標  
としていますので、相談する人・される人の双方ともに学んでいた  
だけの内容となっています。

### 子育て支援者養成講座も実施

この講座は、子育て支援をすることを身近  
に感じ、子育て支援者のスキル向上を目的  
とした講座です。

「子どもを知る」「子育てを知る」「子育ての  
環境を知る」を学び、実際に子育て支援活動  
にも参加する。

知る→学ぶ→実践、そして「ふりかえり」を  
行い、今後活動していく中で「学んだことが実  
践できる」を実現できる養成講座です。

全8回の講座の第一回目をわたしが担当します。

第1回 10/9(金) 9:45-11:45 保健センター(託児あり)  
「子育ての環境を知る」

講師:かわのゆみこ(NPO法人あっとわん代表理事)

今後の講座のレポートや進捗状況は、

**NPO法人あいちがすがいっこさんのブログ**をご覧ください。

<http://ameblo.jp/kasugai-kosodate/>



あっとわんのFacebookページでイベントなどの様子をアップしています。

<http://www.facebook.com/npoatone>



あっとわんのホームページ

<http://npo-atone.jimdo.com>

ブログも  
読んでね!

代表理事 河野弓子のブログ <https://ameblo.jp/berinyan/>

東部子育てセンターのブログ <http://blog.canpan.info/atone-toubukosodate>

かわのゆみこ

あっとわん春秋

NPOやボランティアなど、思いを強く持って活動を始めると、その思いを現実のものにしていくために、いろんな取り組みをやっていくことになり、思いを口に、みんなに伝え、行動していく。その繰り返しなのですが、そもそも、「思い」というのは本当に街の中で必要なものなのでしょうか? 「必要なのは当たり前」の強さという前提は、思いの強さとしては素晴らしいと思えますが、同時に独りよがりな活動や事業になりかねません。▼「本当にこの思いと事業は必要なのか?」という、基本的な問いかけを、折に触れてやっていくことは、活動や事業を客観視し、地域とそこで生活する人たちのニーズをくみ取るためにとても大切なことだと思います。やっていると、思い込んでいた場合もあるかと思えます。アンケートやニーズ調査は自分の思いを正当化するためのものではなく、地域やそこで生活する人にとって必要なものを知るためのものだと思います。▼より良い、適切な活動が継続的に進むためにも自分の思いの本当のところを知る努力をしていくことが、求められているように思います。